

第 68 回 日本薬学会東海支部総会・大会

日時 2022 年 7 月 9 日 (土)

会場 愛知学院大学 楠元キャンパス (愛知県名古屋市千種区楠元町 1-100)

主催 日本薬学会東海支部

実行委員長 佐藤 雅彦 (愛知学院大学薬学部)

参加費

事前参加登録 一般 1500 円、大学院生 500 円 (学部学生 無料)

当日参加 一般 3000 円、大学院生 1000 円 (学部学生 無料)

総会

12:00~12:50 A 会場 (110 周年記念講堂)

大会

13:00~17:55

A 会場 110 周年記念講堂

B 会場 薬学部棟 2 階 201 講義室

C 会場 薬学部棟 2 階 203 講義室

D 会場 薬学部棟 2 階 204 講義室

E 会場 薬学部棟 2 階 206 講義室

F 会場 薬学部棟 2 階 205 講義室

G 会場 4 号館 2 階 4201 講義室

H 会場 4 号館 2 階 4202 講義室

I 会場 3 号館・短期大学部棟 2 階 201 講義室

J 会場 3 号館・短期大学部棟 3 階 301 講義室

K 会場 3 号館・短期大学部棟 3 階 302 講義室

問合せ先

名古屋市千種区楠元町 1-100

愛知学院大学薬学部内

第 68 回 日本薬学会東海支部大会実行委員会 神野 伸一郎

Tel: 052-757-6768

E-mail: tokaishibu@dpc.agu.ac.jp

プログラム概要

会場	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	受付・クローケ
	110周年 記念講堂	薬学部棟					4号館					3号館 短期大学部棟
1階				2階			2階		2階	3階		1階
講堂	201講義室	203講義室	204講義室	206講義室	205講義室	4201講義室	4202講義室	201講義室	301講義室	302講義室		木一ル
11:00-11:50									役員会			
12:00-12:50	総会											
13:00-13:50	特別講演											
14:00-14:20	受賞講演1	受賞講演2	受賞講演3				受賞講演4					総合受付・クローケ (11:00~18:30)
14:30-16:10	化学系薬学1 (8)	化学系薬学3 (8)	生物系薬学1 (8)	生物系薬学3 (9)	生物系薬学1 (8)	生物系薬学5 (8)	生物系薬学7 (8)	生物系薬学1 (10)	物理系薬学1 (10)	医療系薬学1 (8)	医療系薬学2 (8)	
16:15-17:55	化学系薬学2 (8)	化学系薬学4 (7)	生物系薬学2 (8)	生物系薬学4 (8)	生物系薬学6 (8)	生物系薬学8 (8)	生物系薬学6 (8)	生物系薬学2 (10)	物理系薬学2 (10)	医療系薬学3 (6)	医療系薬学3 (6)	

第 68 回 日本薬学会東海支部大会 講演プログラム

特別講演

A 会場 110 周年記念講堂 13:00～13:50

座長： 安池 修之 (愛知学院大学薬学部)

内山 真伸 (東京大学大学院薬学系研究科・信州大学先鋭材料研究所)

未踏化学空間をいかに探索するか？

-合成化学・元素化学・理論化学からのアプローチ-

支部学術奨励賞受賞講演

B 会場 薬学部棟 201 講義室 14:00～14:20

座長： 山本 芳彦 (名古屋大学大学院 創薬科学研究科)

安井 猛 (名古屋大学大学院 創薬科学研究科)

遷移金属触媒を駆使する 1,6-ジイン誘導体から多彩な環構造へのアプローチ

C 会場 薬学部棟 203 講義室 14:00～14:20

座長： 伊藤 彰近 (岐阜薬科大学)

山口 英士 (岐阜薬科大学)

可視光と典型元素による分子変換反応の開発

D 会場 薬学部棟 204 講義室 14:00～14:20

座長： 山田 成樹 (藤田医科大学)

水野 智博 (藤田医科大学)

播種性血管内凝固症候群における補体-凝固系を制御する糖鎖タンパクの機能的役割と創薬ターゲットとしての可能性

G 会場 4 号館 4201 講義室 14:00～14:20

座長： 吉成 浩一 (静岡県立大学薬学部)

志津 怜太 (静岡県立大学薬学部)

異物応答性核内受容体の活性化と機能発現の分子基盤に関する研究

一般講演

B 会場 薬学部棟 201 講義室

14:30~15:50 【化学系薬学 1】 座長 吉村文彦 (静岡県大薬)

B1-S アルキンからのパーフルオロアリール基置換ホウ素エノラート発生法の開発
(¹名大院創薬)

○緩鹿創太¹、濵谷正俊¹、山本芳彦¹

B2-S 可視光駆動型コバルト触媒を利用する C-H 結合切断を伴うエンジインの環化異性化反応
(¹名大院創薬)

○山田啓士¹、安井猛¹、山本芳彦¹

B3-S ルテニウム触媒を用いるシクロプロペンの新規活性化法を利用した環拡大反応の開発
(¹名大院創薬)

○菊池友宏¹、安井猛¹、山本芳彦¹

B4-S ロジウム触媒を用いる C-H 活性化を利用した 3,4-縮環 2-キノロンの合成
(¹名大院創薬)

○平子直洋¹、安井猛¹、山本芳彦¹

B5 シリコンカーバイド担持型パラジウム触媒の開発とフロー式部分水素化反応への適用
(¹岐阜薬大、²キャタラー)

○山田強¹、山本晴香¹、河合奏音¹、青野紀彦²、佐治木弘尚¹

B6-S カルバゾールおよびアクリドンの N-N、C-N 結合形成反応の開発と天然物合成への応用
(¹名城大薬)

○阿知波あかり¹、小田恵子¹、竹内あゆり¹、吉田圭佑¹、北垣伸治¹

B7-S 4-メチルピリジン N-オキシド触媒を用いるオキシラン誘導体のハロ-リン酸エステル化反応の開発
(¹名城大薬)

○新田宮万¹、木村優花¹、吉田圭佑¹、北垣伸治¹

B8 4-メチルピリジン N-オキシド触媒を用いるエポキシドの位置選択的クロロースルホニル化反応の開発
(¹名城大薬)

○吉田圭佑¹、渡部貴晶¹、増田充央¹、北垣伸治¹

16:15~17:35 【化学系薬学 2】 座長 増井悠 (名大院創薬)

B9-S 面不齊ホスフィン触媒による 3-メチレン-2-インドリノンとアレニルエステルとの(2+3)型環化反応における位置選択性の制御
(¹名城大薬、²阪大院薬)

○竹内寛登¹、内田朱音¹、河村真里奈¹、西野絢音¹、稻野真衣¹、青山浩²、吉田圭佑¹、北垣伸治¹

B10-S 面不齊ホスフィン触媒を用いるアザオーロンとアレニルエステルとの(2+3)型環化反応
(¹名城大薬)

○河村真里奈¹、高橋一誠¹、吉田圭佑¹、北垣伸治¹

B11-S 面不齊ビスチオウレア触媒を用いるニトロアルカンのニトロスチレン誘導体への連続的二重マイケル反応
(¹名城大薬)

○森田薰乃¹、小島直洋¹、吉岡駿¹、吉田圭佑¹、北垣伸治¹

- B12-S 二官能基性キラルチオウレアおよびスクアラアミドによる3連続不斉中心構築法の開発
(¹名城大薬)
○鈴木理顕¹、西村緋莉¹、吉田圭佑¹、北垣伸治¹
- B13 DMSO を求核剤とする酸化的シクロプロパン開環反応の開発
(¹名市大院薬)
○秋山敏毅¹、山内裕貴¹、山越博幸¹、中村精一¹
- B14-S Pd 触媒下で5価アンチモン試薬を利用したキノキサリン-2-オンのC-Hアリール化反応
(¹愛知学院大薬)
○野島帆乃香¹、北村有希¹、村田裕基¹、松村実生¹、安池修之¹
- B15-S 有機ビスマス試薬を用いたチオアミドとアミノフェノール類の脱硫閉環反応
(¹愛知学院大薬)
○小柳アリス¹、早川 栄¹、村田裕基¹、松村実生¹、安池修之¹
- B16 5価有機ビスマス試薬を脱硫閉環剤に用いたベンゾイミダゾキナゾリノン誘導体の合成
(¹愛知学院大薬)
○村田裕基¹、加藤勇希¹、竹下茅咲¹、小柳アリス¹、松村実生¹、安池修之¹

C 会場 薬学部棟 203 講義室

14:30~15:50 【化学系薬学3】 座長 中村精一（名市大院薬）

- C1-S N-アセチルアミノ糖への位置選択的アシル化反応
(¹名城大薬)
○服部暖¹、西川泰弘¹、高田華苗枝¹、高羽瑠奈¹、岸未紀¹、松井孝美¹、佐藤彰啓¹、原脩¹
- C2-S フェアリー化合物誘導体の合成研究
(¹静岡県大薬、²静大グリーン研)
○小原遼真¹、大内仁志¹、稻井誠¹、吉村文彦¹、崔宰熏²、河岸洋和²、菅敏幸¹
- C3-S ハリコニンBの合成研究
(¹静岡県大薬)
○内田雅哉¹、新田目かおり¹、大内仁志¹、稻井誠¹、吉村文彦¹、菅敏幸¹
- C4-S コプソン (Kopsone) の合成研究
(¹名大院創薬)
○友谷一駿¹、中嶋大輔¹、小宮一晃¹、横島聰¹
- C5-S α 位に2-ニトロフェニル基を有するケトン類の光誘起転位反応
(¹名大院創薬)
○北山真乃介¹、清水宏明¹、横島聰¹
- C6-S *N*-ビニルピリジニウムへの付加反応におけるピリジン環上置換基の効果
(¹名城大薬)
○北村卓己¹、横江俊哉¹、坂井健男¹、森 裕二¹
- C7-S キラルトリシアノシクロペンタジエンを用いた不斉マンニッヒ反応の開発
(¹名城大薬)
○永井翔也¹、坂井健男¹、森 裕二¹
- C8 *N,N*4-ジメチルアミノピリジン *N*-オキシドを用いるアルコールの触媒的シリル化反応
(¹岐阜医療科学大薬・²岡山大院自然)
○萬代大樹¹、松浦悠一郎²、マフザ ファティン²、光藤耕一²、菅誠治²

16:15～17:25 【化学系薬学4】 座長 坂井健男（名城大薬）

C9-S 分子内環化を蛍光のON-OFFスイッチとしたpH応答性分子の開発

（¹愛知学院大院薬、²愛知学院大薬）

○上田梨奈¹、西村まどか²、中村友香²、原田芽生²、小幡徹^{1,2}、谷岡卓²、神野伸一郎^{1,2}

C10-S アリールテトラフルオロスルファニルイソキサゾリンの合成

（¹名工大院工）

○羽田謙志郎¹、丸野晃暉¹、住井裕司¹、柴田哲男¹

C11-S 6位置換ピリドイミダゾイソキノリニウムの合成と細胞染色への応用

（¹愛知学院大薬）

○川久保暢人¹、伊納義和¹、村田裕基¹、松村実生¹、古野忠秀¹、安池修之¹

C12-S 細胞膜透過型ペプチド性SIRT2阻害剤の開発と細胞障害性評価

（¹名市大薬、²名市大院薬）

○古屋敷帆乃花¹、川口充康²、家田直弥²、中川秀彦²

C13-S 分子生物学とケモインフォマティクスを組み合わせたTRPA1アゴニストのスクリーニング

（¹名古屋大創薬、²静岡県立大食品栄養）

○田中健二郎¹、寺田祐子²、松山南²、藤谷将也¹、瀧谷正俊¹、山本芳彦¹、伊藤圭祐²、加藤竜司¹

C14-S 不安（高・低）感受性ラットに対するエゾウコギの自律神経安定化と学習促進効果

（¹鈴鹿医療大薬、²鈴鹿医療大院薬、³サン・クロレラ株式会社 生産開発）

○塚原雅貴¹、深澤真紀¹、及川弘崇¹、竹腰英夫³、星崎昌子³、藤川隆彦^{1,2}

C15 ヨウシュコバンノキ由来含硫スピロケタール誘導体の抗炎症作用

（¹愛知学院大薬、²岐阜薬大）

○中島健一¹、阿部尚仁²、船戸乃吏佳¹、坪井知恵¹、邑田裕子、大山雅義²、井上誠¹

I会場 3号館・短大棟 201 講義室

14:30~16:10 【物理系薬学1】 座長 近藤伸一（岐阜薬大）

I1-S 末端アルキンを導入したアゾラト架橋白金(II)二核錯体の合成

(¹鈴鹿医療大薬、²大阪医薬大薬)

○若山実希¹、米山弘樹²、植村雅子¹、宇佐美吉英²、米田誠治¹

I2-S CAP-G2-H2-DNA複合体の共結晶化に向けたDNAとの相互作用解析

(¹静岡県大院薬、²理研)

○矢島聰¹、原幸大¹、平野達也²、橋本博¹

I3-S ナノボディ挿入プロテアソームサブユニットにより形成されるリング構造上へのタンパク質集積化

(¹名城大薬、²阪大蛋白研)

○田路円香¹、藤田真生¹、青木由華¹、森 彩乃¹、小田彰史^{1,2}、栗本英治¹

I4-S ドッキングで得られた複数鎖タンパク質-リガンド複合体構造の分子動力学シミュレーション

(¹名城大薬、²広島市大院情報、³湘南医療大薬、⁴阪大蛋白研)

○森月結菜¹、仲吉朝希^{1,2}、加藤紘一^{1,3}、栗本英治¹、小田彰史^{1,4}

I5-S 一本鎖タンパク質-リガンドドッキングで得られた複合体構造の分子動力学シミュレーション

(¹名城大薬、²広島市大院情報、³湘南医療大薬、⁴阪大蛋白研)

○牧野紗季¹、仲吉朝希^{1,2}、加藤紘一^{1,3}、栗本英治¹、小田彰史^{1,4}

I6-S シトクロムP450 2C9の遺伝多型による立体構造の変化に関する分子動力学シミュレーションを用いた解析

(¹名城大薬、²広島市大院情報、³湘南医療大薬、⁴東北大院薬、⁵阪大蛋白研)

○竹下由里子¹、仲吉朝希^{1,2}、加藤紘一^{1,3}、平塚真弘⁴、栗本英治¹、小田彰史^{1,5}

I7-S 分子動力学シミュレーションによる野生型および変異型シトクロムP450 2C19の立体構造の解析

(¹名城大薬、²広島市大院情報、³湘南医療大薬、⁴東北大院薬、⁵阪大蛋白研)

○伊藤菜月¹、仲吉朝希^{1,2}、加藤紘一^{1,3}、平塚真弘⁴、栗本英治¹、小田彰史^{1,5}

I8-S D-Asp残基を含んだアミロイド β の分子動力学シミュレーション

(¹名城大薬、²広島市大院情報、³湘南医療大薬、⁴阪大蛋白研)

○稻岡顕頌¹、仲吉朝希^{1,2}、加藤紘一^{1,3}、栗本英治¹、小田彰史^{1,4}

I9-S マスト細胞のサイトカイン分泌の生物発光イメージング

(¹愛知学院大薬、²愛知学院大歯)

○伊藤 梨佐¹、横川 慧¹、福田 信治²、伊納 義和¹、鈴木 崇弘²、古野 忠秀¹

I10 マスト細胞におけるアクチン重合・脱重合制御シグナル機構の研究

(¹名市大院薬、²愛知学院大薬)

○鈴木瑠理子¹、伊納義和²、横川慧²、古野忠秀²、平嶋尚英¹

16:15～17:55 【物理系薬学2】 座長 伊納義和（愛知学院大薬）

I11-S プロブコールとスタチン類からなる共非晶質の物性検討

（¹愛知学院大薬）

○大山晋司¹、河合かおり¹、安永峻也¹、小川法子¹、山本浩充¹

I12-S 高分子添加による水中でのマイクロゲル粒子の収縮挙動

（¹名市大院薬、²KIIT University）

○平井綾音¹、佐藤結¹、Priti S. Mohanty²、豊玉彰子¹、奥薗透¹、山中淳平¹

I13-S リン脂質自己組織化膜上で構築した高分子ナノフィルムの粒子サイズと形状評価

（¹岐阜薬大、²岐阜医療科学大薬、³松山大薬）

○河野古都羽¹、土井直樹¹、笹井泰志²、山内行玄³、近藤伸一¹

I14-S pH 応答性高分子ナノフィルムからの薬物放出特性に関する研究

（¹岐阜薬大、²岐阜医療科学大薬、³松山大薬）

○奥村真由¹、土井直樹¹、笹井泰志²、山内行玄³、近藤伸一¹

I15-S コアシェルカラムを用いたアミノ酪酸全異性体高速一斉分析法の開発

（¹静岡県大薬、²名城大薬）

○今村美優菜¹、杉山栄二¹、仲村茉緒¹、古庄仰¹、水野 初²、轟木堅一郎¹

I16-S 抗体医薬の血中薬物濃度分析における Enzyme-Linked Aptamer-Assay 法の改良に向けた検討

（¹静岡県大薬、²名城大薬）

○田崎裕之¹、古庄 仰¹、杉山栄二¹、水野 初²、轟木堅一郎¹

I17-S 内視鏡消毒剤中オルトフタルアルデヒドの高感度蛍光定量法の開発

（¹静岡県大薬、²株式会社アマノ医療機器事業部、³名城大薬）

○星野智哉¹、青木萌恵¹、稻葉さひな²、古庄 仰¹、杉山栄二¹、水野 初³、伊藤 忍²、轟木堅一郎¹

I18-S SWATH 測定法を用いたヒト血漿サンプルの定量プロテオーム解析における再現性および測定条件の検討

（¹名城大薬、²名大院医、³桶狭間病院）

○近藤萌花¹、渡邊佳奈¹、吉見陽^{1,2}、藤田潔³、尾崎紀夫²、野田幸裕^{1,2}、水野初¹、今西進¹

I19-S リン酸化シミュレーションソフトウェア SimPhospho を用いたタンパク質リン酸化部位特異的 SWATH データ解析法の開発

（¹名城大薬、²オーストラリアカトリック大）

○井上夏帆¹、尾関玲香¹、早川直希¹、平野裕大¹、高井彩乃¹、岩城圭一郎¹、長谷川徹¹、大瀧優衣¹、Veronika Suni²、水野初¹、今西進¹

I20 新規誘導体化法によるキラル分子のエナンチオ選択的質量分析イメージング

（¹静岡県大薬、²名城大薬）

○杉山栄二¹、西家侑生¹、水野 初^{1,2}、轟木堅一郎¹

D会場 薬学部棟 204 講義室

14:30～15:50 【生物系薬学1】 座長 遠藤智史（岐阜薬大）

D1-S 薬物誘発性不整脈に対するエストロゲン類の影響

(¹静岡県大薬、²ナニオン)

○杉本真菜¹、岡貴之²、杉本真太朗¹、坂本多穂¹、黒川洵子¹

D2-S 二卵性双生児男女由来iPS細胞の樹立

(¹静岡県大薬、²国衛研薬理)

○齋藤桜子¹、長田千尋¹、若林聖士¹、諫田泰成²、砂川陽一¹、森本達也¹、坂本多穂¹、黒川洵子²

D3-S グランザイムB転写活性化における亜鉛の役割

(¹鈴鹿医療大院薬、²鈴鹿医療大薬、³北大遺制研免疫機能学)

○中川直也¹、市原武²、東山尚志²、沈輝棟³、王向東³、北村秀光³、西田圭吾^{1,2}

D4-S ノロウイルス感染に関与する糖脂質の探索研究

(¹静岡県大薬)

○塚本文汰¹、紅林佑希¹、安部友涼¹、南彰¹、高橋忠伸¹、鈴木隆¹、竹内英之¹

D5-S 潰瘍性大腸炎モデルマウスの病態へ影響を及ぼす微量元素

(¹愛知学院大薬)

○前田雅治¹、杉浦蒼¹、久綱僚¹、富田純子¹、河村好章¹

D6-S *Helicobacter cinaedi*の薬剤感受性の現状と再発株の遺伝学的解析について

(¹愛知学院大薬、²虎の門病院)

○芳賀美友¹、富田純子¹、久綱僚¹、遠藤勇祐²、馬場勝²、荒岡秀樹²、河村好章¹

D7 *Helicobacter cinaedi*における特異的遺伝子群の探索およびVI型分泌装置の機能解析

(¹愛知学院大薬)

○富田純子¹、久綱僚¹、河村好章¹

D8 インフルエンザ菌におけるキノロン耐性出現メカニズムの解析

(¹名城大薬、²東京薬大薬)

○輪島丈明¹、田中愛海¹²、中南秀将²、打矢恵一¹

16:15～17:35 【生物系薬学2】 座長 林秀敏（名市大院薬）

D9 2種の *Pantoea* 属新菌種にみられた異なる Siderophore 產生能

(¹愛知学院大薬、²国立国際医療研セ、³製品評価技術基盤機構バイオテクノロジーセ、⁴東京女医大医)

○久綱僚¹、秋山徹²、村松由貴³、富田純子¹、菊池賢⁴、河村好章¹

D10-S LPSによる炎症性サイトカイン発現に対するローヤルゼリー含有脂肪酸の効果

(1岐阜薬大)

○小川永理佳¹、神谷哲朗¹、原宏和¹

D11-S ヒトTRPA1のJT010高感受性にはF670が関与する

(¹愛知学院大薬) ○松原匡希¹、村木由起子¹、波多野紀行¹、鈴木裕可¹、村木克彦¹

D12-S 種差を用いたTRPA1の亜鉛活性化に関わるアミノ酸の同定

(¹愛知学院大薬)

○松原匡希¹、村木由起子¹、波多野紀行¹、鈴木裕可¹、村木克彦¹

D13-S リン脂質フリップ・フロップによるTRPM8イオンチャネル活性制御

(¹静岡県大院薬、²静岡県大食)

○中西陸¹、鈴木美希¹、内田邦敏²、原雄二¹

- D14-S 骨格筋再生におけるミトコンドリア局在タンパク質 MTCH2 の役割
 (1 静岡県大院薬、2 京大院工)
 ○佐藤祐一¹、平野航太郎^{1,2}、村上光¹、原雄二¹
- D15-S ヒアルロニダーゼ 1 および 4 の基質認識部位に関する研究
 (1 名城大薬)
 ○稻葉委¹、水本秀二¹、山田修平¹
- D16-S 筋萎縮性側索硬化症(ALS)患者脳でみられる TDP-43 凝集体の形成を抑制する化合物のスクリーニング
 (1 名市大薬、2 愛知学院大薬)
 ○宮田識園¹、中川育磨¹、服部光治¹、築地仁美^{1,2}

E 会場 薬学部棟 206 講義室

14:30~16:00 【生物系薬学 3】 座長 西田圭吾 (鈴鹿医療大薬)

- E1-S オリゴアデニル酸合成酵素 OAS による RNA3' 末端のポリアデニル化とその生理的意義
 (1 名市大院薬)
 ○石川裕之¹、細田直¹、稻垣佑都¹、星野真一¹
- E2-S 翻訳制御因子 Paip2 は mRNA 3' 末端ポリ A 鎖の短縮化を介して翻訳を抑制する
 (1 名市大院薬)
 ○小森 太貴¹、稻垣佑都¹、星野真一¹
- E3-S 父マウスへのニコチン慢性曝露が仔マウスの行動および脳内の疾患関連分子に与える影響
 (1 名城大薬、2 名城大院薬)
 ○安藤綾那¹、衣斐大祐^{1,2}、山口瑞貴¹、中齋玄紀²、早川昂汰¹、間宮隆吉^{1,2}、平松正行^{1,2}
- E4-S 胎生期ニコチン曝露誘発行動障害における $\alpha 7$ ニコチン性アセチルコリン受容体の関与
 (1 名城大薬、2 藤田医大医療科学)
 ○牛田真美¹、間宮隆吉¹、鈴木里麻¹、衣斐大祐¹、鍋島俊隆²、平松正行¹
- E5-S 胎生期ニコチン曝露による胎仔脳内 TNF α および IL-1 β の変化
 (1 名城大薬、2 藤田医大医療科学)
 ○鈴木里麻¹、間宮隆吉¹、竹河里帆¹、桑田直哉¹、牛田真美¹、衣斐大祐¹、鍋島俊隆²
 平松正行¹
- E6-S リン脂質フリッパー ATP8A1/ATP8A2 二重欠損マウスにおけるグリア細胞活性化の分子機構
 (1 名市大薬、2 名市大院薬、3 名市大院医)
 ○徳永柊¹、梅村悠太²、大嶋智葉²、中島鼓美²、大石久史³、服部光治^{1,2}
- E7-S リン脂質フリッパー ATP8A1/ATP8A2 による、神経細胞内タンパク質局在制御
 (1 名市大院薬、2 名市大院医、3 順天堂大院医)
 ○川瀬宗之¹、梅村悠太¹、大嶋智葉¹、中島鼓美¹、大石久史²、櫻井隆³、服部光治¹
- E8 スワインソニンにより誘導されるユニークなフコシル化を阻害したときの結合型および遊離型 N-glycan の代謝応答
 (金城学院大学薬)
 ○小澤優里香、杉浦 花菜子、山本 友里恵、森川 智恵、近藤 恵尚、小島 由真、篠原 康郎

- E9-S Prader-Willi syndrome 患者由来 iPS 細胞を用いた脂肪分化の解析
(¹立命館大薬)
○岸村うらら¹、添田修平¹、谷浦秀夫¹

16:15~17:35 【生物系薬学 4】 座長 山口智広（金城学院大薬）

- E10-S ストレスモデルマウスの情動行動異常に対するセロトニン作動性幻覚薬の緩解作用
(¹名城大薬、²名城大院薬)
○北川浩子¹、衣斐大祐^{1,2}、川瀬リリ菜¹、高羽里佳²、吉田圭佑^{1,2}、間宮隆吉^{1,2}、北垣伸治^{1,2}、平松正行^{1,2}
- E11-S コレシストキニン受容体 2 過剰発現マウスのメタンフェタミンに対する反応
(¹名城大薬)
○中嶋彩華¹、間宮隆吉¹、古関竹直¹、中嶋友女¹、衣斐大祐¹、平松正行¹
- E12-S 分泌タンパク質リーリンは神経細胞膜の脂質組成制御に関わる
(¹名市大薬、²名市大院薬、³慶應大院薬、⁴理研 IMS)
○竹腰祐斗¹、安藤飛悠吾²、河野孝夫^{1,2}、有田誠^{3,4}、服部光治^{1,2}
- E13-S 脳の発生と機能に必須の細胞内タンパク質 Dab1 の新規リン酸化メカニズム
(¹名市大院薬)
○原光輝¹、河野孝夫¹、石井圭介¹、服部光治¹
- E14-S インスリン分泌および臍 β 細胞増殖に対するジアシルグリセロールキナーゼ 6 の機能解析
(¹静岡県大院薬)
○渡邊直也¹、金子雪子¹、石川智久¹
- E15-S 樹状細胞分化における転写因子 IRF ファミリーの役割
(¹名市大院薬、²信大医)
○生田現¹、榎原悠¹、井上靖道¹、伊藤佐生智¹、林秀敏¹、瀧伸介²、肥田重明¹
- E16-S ゴルジ体断片の分画に基づく糖転移酵素の局在解析
(¹名市大院薬、²ExCELLS)
○山本 乗¹、齋藤泰輝¹、矢木宏和^{1,2}、加藤晃一^{1,2}
- E17 酸化 LDL による TLR4 シグナル活性化を介した糖尿病性神経障害増悪機構の解析
(¹愛知学院大薬、²愛知医大医、³東京都医学総合研究所)
○二瓶涉¹、加藤文子¹、姫野龍仁²、近藤正樹²、中村二郎²、神谷英紀²、三五一憲³、加藤宏一¹

F 会場 薬学部棟 205 講義室

14:30~15:50 【生物系薬学 5】 座長 服部光治（名市大院薬）

- F1 化学物質の発達神経毒性評価の効率化に向けた神経分化トレーサーマウスの有用性検証
(¹岐阜薬大、²岐阜医療大薬、³国立衛研、⁴阪大院歯)
○石田慶士¹、南川祥輝¹、辰巳佳乃子¹、森 一馬¹、松丸大輔¹、永瀬久光²、諫田泰成³、田熊一敬⁴、中西 剛¹
- F2-S 線維芽細胞分化抑制ペプチドスクリーニング系の開発
(¹名大院創薬、²近畿大工学、³名大ナノライフシステム研)
○高木達夫¹、藤本瑛代¹、杉山亜矢斗¹、蟹江慧²、加藤竜司^{1,3}

- F3-S 培地交換工程設計における細胞形態情報解析を応用したデザインスペースの理解
(¹名大院創薬、²名大ナノライフシステム研)
○深谷俊進¹、竹本悠人¹、伊藤友哉¹、蟹江慧¹、加藤竜司^{1,2}
- F4-S 核内受容体 CAR は YAP との相互作用を介して肝発がんプロモーション作用を示す
(¹静岡県大薬)
○牧田夏希¹、志津怜太¹、曾部圭一郎¹、保坂卓臣¹、菅野裕一郎¹、佐々木崇光¹、吉成浩一¹
- F5-S 乳幼児期における化学物質曝露は CAR 活性化を介して成長遅延を引き起こす
(¹静岡県大薬)
○田代紗莉依¹、志津怜太¹、菅野裕一郎¹、保坂卓臣¹、吉成浩一¹
- F6-S モリンガ (*Moringa oleifera* Lam.) によるマウス腸管内分泌細胞からの GLP-1 分泌促進に関する研究
(¹名城大、²横浜薬大)
○加藤水基¹、森葉子¹、青木明¹、岡本薗士典¹、磯部隆史²、大河原晋²、埴岡伸光²、香川(田中)聰子²、神野透人¹
- F7-S TVOC のデコンボリューション解析による室内空気汚染化学物質の探索
(¹名城大、²国立衛研、³横浜薬大)
○森 葉子¹、井上凌子¹、青木 明¹、岡本薗士典¹、大嶋直浩²、田原麻衣子²、酒井信夫²、香川(田中)聰子³、神野透人¹
- F8-S カドミウム腎毒性に対するレチノイン酸の防御効果
(¹愛知学院大薬)
○森稚景¹、李辰竜¹、徳本真紀¹、佐藤雅彦¹

16:15~17:35 【生物系薬学 6】 座長 岡本薗士典(名城大薬)

- F9-S カドミウムによる dihydropyrimidinase の発現変動
(¹愛知学院大薬)
○高井玲菜¹、李辰竜¹、徳本真紀¹、佐藤雅彦¹
- F10-S カドミウムによるネクロプトーシス関連因子の発現変動
(¹愛知学院大薬)
○高橋真理¹、李辰竜¹、徳本真紀¹、佐藤雅彦¹
- F11-S 反復投与毒性試験における肝脂肪化又は肝細胞肥大の発現と化学物質のオートファジー阻害活性との関連性
(¹静岡県大薬)
○早川由真¹、保坂卓臣¹、志津怜太¹、菅野裕一郎¹、吉成浩一¹
- F12-S iPS 細胞由来心筋細胞拍動解析における安定な心毒性評価法の開発
(¹名大院創薬、²静岡県大薬、³国衛研、⁴名大ナノライフシステム研)
○坂将成¹、山口賢彦²、岩下賢士郎²、佐塚文乃³、今井祐太¹、蟹江慧¹、諫田泰成³、黒川洵子²、加藤竜司^{1,4}
- F13-S 神経疾患モデル細胞における表現型スクリーニング技術の開発
(¹名大院創薬、²名大院医学系研究科、³ナノライフシステム研、⁴医療健康データ統合研究教育拠点、⁵iGCORE)
○小島拓也¹、榎原健二²、今井祐太¹、飯田円²、勝野雅央^{2,3,4,5}、加藤竜司^{1,3,5}

F14-S ストレス負荷時の海馬長期増強と亜鉛イオンの関与

(¹静岡県大院薬)

○渡邊慧¹、鈴木美希¹、原雄二¹、武田厚司¹

F15-S 生活習慣病はアルツハイマー病リスク因子の脳内蓄積を促進する

(¹静岡県大薬、²理化学研究所)

○中尾初音¹、南彰¹、藤田耕成¹、荻野加奈子¹、平林義雄^{1,2}、紅林佑希¹、高橋忠伸¹、竹内英之¹

F16 術後認知機能障害における低酸素誘導因子の関与

(¹愛知学院大薬)

○兒玉大介¹、大井義明¹、櫻彰¹)

G 会場 4号館 4201 講義室

14:30~15:50 【生物系薬学7】 座長 坂本多穂 (静岡県大薬)

G1-S microRNAによるスキルス胃癌の腹膜転移関連遺伝子 CELSR1 の発現制御機構

(¹愛知学院大薬)

○伊藤揮市郎¹、原敏文¹、森田あや美¹、武井佳史¹

G2-S スキルス胃癌の腹膜転移を制御する MRC2 の役割

(¹愛知学院大薬)

○吉田弥礼¹、丸山奈緒美¹、森田あや美¹、原敏文¹、武井佳史¹

G3-S スキルス胃癌の腹膜転移における EPPK1 の役割

(¹愛知学院大薬)

○渡邊紗里¹、丸山奈緒美¹、森田あや美¹、原敏文¹、武井佳史¹

G4-S 前立腺癌細胞のアパルタミド耐性克服における過酸化脂質由来細胞死の関与

(¹岐阜薬大、²九大医、³産業医大)

○河野真也¹、瀬川仁¹、河合弥菜¹、太田篤実¹、吉野雄太¹、塩田真己²、藤本直浩³、遠藤智史¹、五十里彰¹

G5-S がん原遺伝子 c-Myc によるがん悪性化作用における TRB1 の役割

(¹名市大院薬)

○鈴木祐陽¹、宮嶋ちはる¹、都築香里¹、井上靖道¹、林秀敏¹

G6-S USP7 は Twist の脱ユビキチン化酵素としてがんの浸潤に寄与する

(¹名市大院薬)

○中垣春奈¹、渡辺信¹、宮嶋ちはる¹、井上靖道¹、林秀敏¹

G7 Oxaliplatin 投与によるマスト細胞の遊走と機械的アロディニア

(¹金城学院大学薬、²富山大学薬、³和歌山県立医科大)

○安東嗣修^{1,2}、加納采佳¹、坂本歩美²、倉石 泰³

G8 Oxaliplatin 誘発機械的アロディニア発症における肥満細胞の脱顆粒の関与について

(¹金城学院大薬)

○淺井遙、大橋理恵、黒宮琴音、高村麗華、山本律子、加納采佳、安東嗣修、福石信之

16:15～17:35 【生物系薬学8】 座長 日比野絵美（名大院創薬）

G9-S クローディン-1を介したバイオ医薬品の経皮吸収促進法の開発

(¹岐阜薬大・生化学、²湘南医療大薬)

○照屋達己¹、吉野雄太¹、加藤由夏¹、石川吉伸²、遠藤智史¹、五十里彰¹

G10-S 肺癌細胞の抗癌剤耐性化におけるクローディン-1の関与

(¹岐阜薬大・生化学、²岐阜薬大・EGPS)

○江口博晶¹、伊藤綾夏¹、吉野雄太¹、遠藤智史¹、松永俊之²、五十里彰¹

G11-S Functional analyses of IK6 generating knockout cells of B-cell acute lymphoblastic leukemia

(¹名城大薬)

○荻本祐也¹、柳澤聖¹

G12-S Exploration of novel molecular function of SMAD4 in colorectal cancer

(¹名城大薬)

○荻本祐也¹、柳澤聖¹

G13-S がん抑制遺伝子産物 BTG3 は標的 mRNA のポリ A 鎖分解を抑制し、安定性を向上させる

(¹名市大院薬)

○中北侑希¹、細田直¹、尾上耕一¹、山岸良太¹、稻垣佑都¹、星野真一¹)

G14-S ヒトスキルス胃癌細胞におけるフェロトーシスの影響

(¹愛知学院大薬)

○鶴巻和紘¹、森田あや美¹、原敏文¹、武井佳史¹

G15-S ヒトスキルス胃癌細胞の転移能抑制効果におけるマンノース代謝酵素の関与

(¹愛知学院大薬)

○杉山稜子¹、森田あや美¹、原敏文¹、武井佳史¹

G16 SH-SY5Y 細胞における TAGE 標的タンパク質の探索とその生理学的意義

(¹鈴鹿医療科学大薬、²金沢医科大)

○大井勇秀¹、古川絢子¹、竹内正義²、郡山恵樹¹

J会場 3号館・短大棟 301 講義室

14:30~16:10 【医療系薬学1】 座長 林秀樹（岐阜薬科大）

J1 ピロリ菌感染患者のFスケール問診票（胃食道逆流症の評価）と患者の年齢との関連

(¹愛知学院大薬)

○尾関佳代子¹、羽田和弘¹、脇屋義文¹

J2-S オキサリプラチン投与時のデキサメタゾンによるpH調整が血管痛のVASに与える影響

(¹岐阜薬大、²岐阜大病院薬、³岐阜大病院消化器外科)

○鏑木美帆¹、藤井宏典^{1,2}、上田祐稀乃¹、渡辺大地²、廣瀬智恵美²、飯原大稔^{1,2}、松橋壽³、高橋孝夫³、小林亮^{1,2}、鈴木昭夫^{1,2}、林秀樹^{1,2}

J3-S 薬局薬剤師への腎機能に基づいた処方監査の充実を目指したセミナーの取り組み

(¹愛知学院大薬、²名北調剤)

○加藤武瑠¹、渡邊法男¹、市原敬大²、安藤基純¹、河原昌美¹

J4-S 副作用報告データベースを用いた直接経口抗凝固薬による中枢神経系出血性副作用に対するプロトンポンプ阻害薬併用の影響に関する解析

(¹名市大院薬)

○家田維哉¹、島田裕脩¹、坂部彩¹、頭金正博¹

J5-S 角質層の肥厚がマウス皮膚のソラフェニブ濃度に及ぼす影響

(¹名城大薬)

○小島綾華¹、加藤美紀¹、灘井雅行¹

J6-S ヒト近位尿細管上皮細胞 RPTEC/TERT1 へ及ぼす抗うつ薬セルトラリンの影響

(¹愛知学院大薬、²長崎国際大薬)

○尾崎レイラ¹、立松亜子¹、川寄達也^{1,2}、鍋倉智裕¹

J7 LC/MS/MS を利用した臨床における血清クロザピン濃度の評価系の確立

(¹鈴鹿医療科学大薬、²総合心療センターひなが)

○藤澤豊¹、佐藤雅也^{1,2}、和田智仁²、三輪高市¹

J8-S 腎摘出慢性腎不全モデルラットにおける腎有機アニオンおよびカチオントランスポーターの発現変動

(¹名城大薬)

○藤井祐伽¹、高瀬彩奈¹、草川里奈¹、松本紗希¹、榎原有季子¹、加藤美紀¹、灘井雅行¹

J9-S 高脂肪食摂取時のセレノプロテインPの発現制御に関わる因子解明のための肝SREBP-1の発現評価

(¹愛知学院大薬)

○北本莉子¹、安藤基純¹、渡邊法男¹、河原昌美¹

J10-S 悪性中皮腫の新規治療薬としてのアスパラギナーゼ-グルタミナーゼ活性の影響について-
(¹愛知学院大薬)

○谷口拓人¹、小山太一¹、鬼頭敏幸¹

K会場 3号館・短大棟 302 講義室

14:30~15:50 【医療系薬学2】 座長 金沢貴憲（静岡県大薬）

K1 グリセロールと α -シクロデキストリンがサンジェロースを基剤とする膜の特性に及ぼす影響

(¹静岡県大薬)

○照喜名孝之¹、金沢貴憲¹、近藤啓¹

- K2-S 食品飲料の嚥下補助のためのとろみ調整剤の錠剤化に関する検討 (2)
 (1名城大薬、²ニュートリー)
 ○蔭山義明¹、谷山洋平²、安田有沙²、近藤啓太¹、丹羽敏幸¹
- K3-S 高速攪拌造粒機を用いた乾式混合ポリマーコーティング法の開発
 (1名城大薬)
 ○真多菖子¹、近藤啓太¹、丹羽敏幸¹
- K4-S メカノフュージョン技術を用いた全乾式工程によるコーティング粒の調製 (2) 一湿式流動層法との放出制御能の比較－
 (1名城大薬)
 ○小澤優花¹、近藤啓太¹、丹羽敏幸¹
- K5-S 乳酸菌末の製品化に向けた乾式せん断処理技術による複層コーティング粒子の設計 (2)
 (1名城大薬)
 ○西川采伽¹、近藤啓太¹、丹羽敏幸¹
- K6-S セルロースナノファイバーを用いたキシリトール打錠用顆粒の設計
 (1愛知学院大薬、²物産フードサイエンス)
 ○高橋侑杜¹、安永峻也¹、小川法子¹、蓑田香奈子²、木村雄輝²、柄尾巧²、山本浩充¹
- K7-S 乾式錠剤コーティング法により製した高分子被覆層の成膜現象の解明
 (1名城大薬)
 ○市川達也¹、近藤啓太¹、丹羽敏幸¹
- K8 高速攪拌造粒機を用いた乾式非晶質化・球形造粒法の開発
 (1名城大薬、²Department of Pharmacy, University of Copenhagen)
 ○近藤啓太¹、Thomas Rades²

16:15～17:15 【医療系薬学3】 座長 丹羽敏幸 (名城大薬)

- K9-S 気液界面細胞培養系を用いたヒアルロン酸粉末製剤からの薬物取込経路の評価
 (1名城大薬、²岐阜薬大)
 ○芳角泰成¹、谷美月¹、伊藤貴章²、奥田知将¹、山添絵理子²、田原耕平²、岡本浩一¹
- K10 Poly(lipoic acid)-based nanoparticles of quercetin with improved oral bioavailability and hepatoprotective effects
 (静岡県大薬)
 ○Sujan Banik、山田幸平、佐藤秀行、尾上誠良
- K11 ナノ結晶固体分散体製剤化による quercetin の経口吸収性改善
 (1静岡県大薬、²Princeton Univ.)
 ○山田幸平¹、徳吉泰春¹、佐藤秀行¹、Robert K. Prud'homme²、尾上誠良¹
- K12-S Development of astaxanthin-loaded nanoparticles for improvement of stability and oral bioavailability
 (静岡県大薬)
 ○Antara Ghosh、山田幸平、佐藤秀行、尾上誠良
- K13-S 消化管粘膜付着を目指したナノファイバー製剤の設計と評価
 (1静岡県大薬)
 ○内山嘉稀¹、照喜名孝之¹、金沢貴憲¹、近藤啓¹
- K14-S Atrigel delivery system による vancomycin の皮下組織滞留性向上
 (1静岡県大薬、²山梨大病院薬)
 ○鈴木進太郎¹、内田淳^{1,2}、河田圭司²、山田幸平¹、佐藤秀行¹、尾上誠良¹